

亡き夫に見守られて 母娘の店の営業再開

「60年ぶりに自宅で商売を再スタートさせることができました」と話すのは、唐揚げや弁当が人気の「吉山商店」の店主、吉山喜久子さん(84)です。惣

領で44年ほど看板を掲げた人気店でしたが、地震後はテックノ仮設団地内の「益城テックノ笑店街7」に移りその後、木山交差点近くの「いくばい益城笑店

街」で商売を続けてきました。

そして5月中旬からは、創業当時の自宅敷地内に新店舗を構えます。そこは、2年前に86歳で亡くなった吉山光義さんと、妻の喜久子さんの思いが深い場所です。

「こうして商売を続けてこられたのは、お父さんのおかげ。ばってん、もう年だけん引退しようとも思うけど、たくさんの方から『応援するけんがんばんなっせ』と励まされて。それがありがたくて、うれしくてねえ」と喜久子さんは穏やかに話します。

そんな喜久子さんを支えるのは、長女のひとみさん(66)です。新店舗では従来のメンチカツやアジフライに加え、小鉢料理なども登場するそうです。ひとみさんは、「忙しいお母さんたちの支えになればと、メニューもいろいろと考えていくつもりです」と包容



光義さんの遺影を、吉山さん親子は肌身離さずそばに置いています



上/元気な笑顔で商売にはげむ吉山喜久子さん(左)と長女のひとみさん

左/塩の味加減が絶妙な、ジューシーな唐揚げ



新店では赤飯の他にも、小鉢料理などがそろそろ予定です

パン専門店オープン あれこれと手が伸びて

寺迫交差点から南の、秋津川に向かう途中の道沿いで、かわいらしいパン屋さんを見つけました。

昨年末、12月24日のクリスマススイブの日にオープンした「ましきのパンや

力のある笑顔を見せます。

そんな二人を見守るように、遺影の光義さんはうれしそうに笑っていました。



上/「ましきのパンやトレゾール」の皆さん。左から田島瑞穂さん(26)、店主の徳丸賢二さん、徳丸千津子さん、野口彰彦さん(40)、富岡昭弘さん(62)

左/ボリューム感たっぷりの「俺のハンバーガー」

トレゾール」です。ドアを開けた途端たちまち、香ばしいパンの匂いが漂います。ここには総菜パンから菓子パンまで豊富な種類がそろいます。

お薦めは「俺のハンバーガー」。手作りのハンバーグと新鮮な野菜が盛り込まれ、ボリューム満点。「食べるのが大好きで、自分で食べたいと思うハンバーガーを発売しました」と話すオーナーの徳丸賢二さん(61)は、隣で「宝自動車」も経営しています。

店にはこの他にも、おにぎりの形をした三角形のおにぎりパンもありま